



通巻 No.253 2024年12月1日

教会報ほんじょ

〒130-0011 東京都墨田区石原 4-37-2 TEL : 03-3623-6753 FAX : 03-5610-1732
<https://www.catholic-honjyo-church.org>

INDEX

- 「孟冬」
主任司祭 パウロ 豊島 治
- 「司牧評議会からのお知らせ」
- その他

「孟冬」

主任司祭 パウロ 豊島 治

十二月のご挨拶を申し上げます

先月は死者の月でしたが、その十三日、多くの作品を世に贈った谷川俊太郎さんが亡くなりました。七十年余りにわたって紡がれてきた谷川さんの作品として、生きるすばらしさを綴った「生きる」。世界中で朝を迎える様子を描いた「朝のリリース」。昭和世代までは教科書にも掲載され親しみをもっていた方もおられるでしょう。他にも絵本「スイミー」、スヌーピーが登場する漫画「ピーナッツ」の翻訳を手掛けられました。アニメ「鉄腕アトム」の主題歌も作られています。やさしいことばで難しいこと・深いことをつたえることができる谷川さんこそが本当のことばの使い手であると俵万智さんは訃報を伝えたテレビのニュースで評しています。

谷川さんが本所教会の設立時母体と同じパリ外国宣教会の一員のマイエ神父様によって設立された幼稚園ご出身だということを最近知りました。私は、その裏にある教会に通っていました。谷川さんはカトリックメディアであるシグニス制作動画の中

で「幼稚園の壁に掛け軸があった。天使が天秤をもっていて青い方に下がったらあなたは地獄。赤い方に下がったら天国にいける。というのを印象深く覚えていた」と述べられました。すぐに、対談相手の神父様がきちんと説明してその二元論的な決めつけではないことの誤解をといってくださいいましたが、重要な視点だったと感じました。

現在の言葉づかいを考えると、短絡的思考が蔓延している気がします。一つの問題には複数の要因があるのです。教会が「総合的なエコロジー」という言葉を用いているのも私たちに緻密に考えて協同すること

を促しているように感じます。

谷川さんが十二年前に発表された「かみさまはいらない? (あかちゃんから絵本)」では一言での決めつけを避けた総合的な神を探索する視座を感じます。また三十年前には「かみさまへのてがみ」も翻訳されています。こどもからの問いかけの形で神と人のかかわりが表現されていますが、純粋に谷川さんは日本語にされています。これはとても高度なことなのです。

十一月末に司祭研修会があり、この巻頭言の原稿は研修先で執筆しています。枢機卿任命、補佐司教誕生祝いなど司祭団で行い、枢機卿様・補

佐司教様からのメッセージをいただき、ハラスメントについて学び、司祭同士で「霊による会話」などを行ったのですが、最終日のミサ説教で「二十年前の司教叙階のときに選んだ「多様性」というモットーについて今はもっと多岐にわたる意味を持っている」というような内容が印象にのこりました。

谷川さんの話にもどります。谷川さんは出身高校の生徒に向けて「あなたに」という詩を贈っています。著作権の関係で転載はできませんので検索してください。三部構成になっているのですが、そこには孤独に生きていかねばならない人間の性(さが)を示しながら愛されている励ましを感じるのです。

待降節がはじまりました。

神がひとり子イエスを私たちに贈ってくださいった愛。そして人を生かすことばをもったイエスが幼子として私たちと出会ってくださいったことをうれしく感じるためのよい準備となりますように。